

図書館ビジョン事業実施計画前期評価

区分	評価指標	R 元				R 2				R 3				R 4				R 5				前期事務局自己評価	図書館協議会委員 からのご意見	外部評価			
		目標	実績	達成度	自己評点	目標	実績	達成度	自己評点	目標	実績	達成度	自己評点	目標	実績	達成度	自己評点	目標	実績	達成度	自己評点						
図 書 館 運 営	基本的サービス																										
	資料購入費・決算数値（千円）	—	11,135	—	B	—	13,865	—	B	—	11,263	—	B	—	12,911	—	B	—	13,596	—	C	● <u>【前期総合自己評価】評価B</u> ・令和2年よりコロナ感染が拡大し令和5年5月までは感染症の分類で2類相当となっており、佐渡市内も高齢者施設での感染、学校での感染拡大で、人との接触が制限された期間があった。そのため、図書館全体の利用者の減に繋がった。また、佐渡市人口も毎年1,000人程度減少を続けており、施策目標数値も高く設定されていることから、令和5年度はC評価となった。 ・蔵書数は令和2年度～令和5年度は目標を達成しており、貸出し冊数登録者数は低調である。来館者数は、回復基調となっている。 ・文化庁の令和5年度「国語に関する世論調査」によると、男女16歳以上の不読率（一カ月に1冊も本を読まない割合）は、これまで4割台の推移だったものが、6割を超え、読書離れが急速に進んでいることから、佐渡市図書館では基本サービスの充実を更に図るとともに、情報発信、図書館に来館いただくきっかけとなる事業推進を図っていくことが重要となる。 ・ <u>事業施策「基本サービス」に関して指標の達成度の平均が88%となっており前期総合評価は概ね目標どおり達成と評価する。</u>	● <u>【前期総合自己評価】評価B</u> ・令和2年よりコロナ感染が拡大し令和5年5月までは感染症の分類で2類相当となっており、佐渡市内も高齢者施設での感染、学校での感染拡大で、人との接触が制限された期間があった。そのため、図書館全体の利用者の減に繋がった。また、佐渡市人口も毎年1,000人程度減少を続けており、施策目標数値も高く設定されていることから、令和5年度はC評価となった。 ・蔵書数は令和2年度～令和5年度は目標を達成しており、貸出し冊数登録者数は低調である。来館者数は、回復基調となっている。 ・文化庁の令和5年度「国語に関する世論調査」によると、男女16歳以上の不読率（一カ月に1冊も本を読まない割合）は、これまで4割台の推移だったものが、6割を超え、読書離れが急速に進んでいることから、佐渡市図書館では基本サービスの充実を更に図るとともに、情報発信、図書館に来館いただくきっかけとなる事業推進を図っていくことが重要となる。 ・ <u>事業施策「基本サービス」に関して指標の達成度の平均が88%となっており前期総合評価は概ね目標どおり達成と評価する。</u>	● <u>【前期総合自己評価】評価B</u> ・令和2年よりコロナ感染が拡大し令和5年5月までは感染症の分類で2類相当となっており、佐渡市内も高齢者施設での感染、学校での感染拡大で、人との接触が制限された期間があった。そのため、図書館全体の利用者の減に繋がった。また、佐渡市人口も毎年1,000人程度減少を続けており、施策目標数値も高く設定されていることから、令和5年度はC評価となった。 ・蔵書数は令和2年度～令和5年度は目標を達成しており、貸出し冊数登録者数は低調である。来館者数は、回復基調となっている。 ・文化庁の令和5年度「国語に関する世論調査」によると、男女16歳以上の不読率（一カ月に1冊も本を読まない割合）は、これまで4割台の推移だったものが、6割を超え、読書離れが急速に進んでいることから、佐渡市図書館では基本サービスの充実を更に図るとともに、情報発信、図書館に来館いただくきっかけとなる事業推進を図っていくことが重要となる。 ・ <u>事業施策「基本サービス」に関して指標の達成度の平均が88%となっており前期総合評価は概ね目標どおり達成と評価する。</u>			
	蔵書冊数	358,000	352,736	98.5%		358,000	361,469	101.0%		360,000	362,982	100.8%		360,000	365,428	101.5%		360,000	371,822	103.3%							
	個人の貸出冊数	250,000	252,757	101.1%		250,000	217,103	86.8%		250,000	251,887	100.8%		270,000	244,558	90.6%		300,000	228,213	76.1%							
	登録者数	17,800	17,012	95.6%		17,800	17,709	99.5%		18,000	15,416	85.6%		19,000	15,158	79.8%		20,000	13,404	67.0%							
	（うち新規登録者数）	900	859	95.4%		900	701	77.9%		900	840	93.3%		900	559	62.1%		1,200	776	64.7%							
	来館者数	160,000	163,702	102.3%		160,000	101,925	63.7%		150,000	120,964	80.6%		150,000	127,060	84.7%		155,000	136,216	87.9%							
	1 佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館																										
12歳以下子ども一人当たりの児童書数	24	22	92.9%	B	24	25	104.2%	B	24	25	104.2%	B	25	27	108.0%	A	23	30	130.4%	A	● <u>【前期総合自己評価】評価B</u> ・指標「12歳以下子ども一人当たりの児童書数」は令和2年度～令和5年度と目標を上回り達成できた。 ・指標「小・中・高等学校への団体貸出数」は、コロナ交付金を活用した新型コロナウイルス感染症拡大防止による、子ども達の読書機会の減少への対策として、定期的に小学校への団体貸出を行う図書館パワーアップ事業などにより令和2年～令和5年度は目標を上回る実績となった。 ・指標「学校図書館との懇談会、合同研修会開催」は、令和2・3年度に関しては目標を達成できなかったものの令和元・4・5年度は、目標を達成できた。 ・ <u>事業施策「佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館」に関して指標の達成度の平均が92.3%となっており、前期総合評価は概ね目標どおり達成と評価する。</u>	● <u>【前期総合自己評価】評価B</u> ・【評価A】全体的に目標を遥かに超えているため、また、職員の努力を評価する。 ・総合評価及び評価内容は妥当と思われる。 ● <u>内容説明および自己評価について</u> ・利用者増加の傾向は、努力の証。 ・特に力を入れてほしい指標なので、図書館パワーアップ事業を継続したりそれに代わる施策を行って支援してほしいです。 ・コロナ禍でも交付金を活用した団体貸出冊数の増加など目標を上回ったことを評価します。 ・妥当な評価だと思う。 ・団体貸出冊数が増加したことは素晴らしい。様々な本に触れる機会は大切なので、これからも継続していただきたい。 ・インターネットや動画配信の普及によって社会の構造が変化している。学校は子ども達に本と接する機会を作る重要な場になる。学校と連携して子どもの読書環境の整備や情報リテラシー教育に力を入れていただきたい。 ・学校と連携し、先生方が読書に関して意欲的なクラスは読書量が多い子が沢山いるかと思いました。（読み聞かせをして） ・なお、達成度について単純に合計の平均を持って達成度の尺度としているが、それで良いか疑問である。（全体のトレンドが重要では？）	● <u>【前期総合自己評価】評価B</u> ・【評価A】全体的に目標を遥かに超えているため、また、職員の努力を評価する。 ・総合評価及び評価内容は妥当と思われる。 ● <u>内容説明および自己評価について</u> ・利用者増加の傾向は、努力の証。 ・特に力を入れてほしい指標なので、図書館パワーアップ事業を継続したりそれに代わる施策を行って支援してほしいです。 ・コロナ禍でも交付金を活用した団体貸出冊数の増加など目標を上回ったことを評価します。 ・妥当な評価だと思う。 ・団体貸出冊数が増加したことは素晴らしい。様々な本に触れる機会は大切なので、これからも継続していただきたい。 ・インターネットや動画配信の普及によって社会の構造が変化している。学校は子ども達に本と接する機会を作る重要な場になる。学校と連携して子どもの読書環境の整備や情報リテラシー教育に力を入れていただきたい。 ・学校と連携し、先生方が読書に関して意欲的なクラスは読書量が多い子が沢山いるかと思いました。（読み聞かせをして） ・なお、達成度について単純に合計の平均を持って達成度の尺度としているが、それで良いか疑問である。（全体のトレンドが重要では？）				
小・中・高等学校への団体貸出冊数	9,000	7,796	86.6%		9,000	10,211	113.5%		11,000	12,252	111.4%		11,000	12,334	112.1%		10,000	12,123	121.2%								
学校図書館との懇談会、合同研修会 回数	2	2	100.0%		2	0	0.0%		1	0	0.0%		1	1	100.0%		3	3	100.0%								
● <u>【前期総合自己評価】評価B</u> ・【評価A】全体的に目標を遥かに超えているため、また、職員の努力を評価する。 ・総合評価及び評価内容は妥当と思われる。 ● <u>内容説明および自己評価について</u> ・利用者増加の傾向は、努力の証。 ・特に力を入れてほしい指標なので、図書館パワーアップ事業を継続したりそれに代わる施策を行って支援してほしいです。 ・コロナ禍でも交付金を活用した団体貸出冊数の増加など目標を上回ったことを評価します。 ・妥当な評価だと思う。 ・団体貸出冊数が増加したことは素晴らしい。様々な本に触れる機会は大切なので、これからも継続していただきたい。 ・インターネットや動画配信の普及によって社会の構造が変化している。学校は子ども達に本と接する機会を作る重要な場になる。学校と連携して子どもの読書環境の整備や情報リテラシー教育に力を入れていただきたい。 ・学校と連携し、先生方が読書に関して意欲的なクラスは読書量が多い子が沢山いるかと思いました。（読み聞かせをして） ・なお、達成度について単純に合計の平均を持って達成度の尺度としているが、それで良いか疑問である。（全体のトレンドが重要では？）																								● <u>【前期総合自己評価】評価B</u> ・【評価A】全体的に目標を遥かに超えているため、また、職員の努力を評価する。 ・総合評価及び評価内容は妥当と思われる。 ● <u>内容説明および自己評価について</u> ・利用者増加の傾向は、努力の証。 ・特に力を入れてほしい指標なので、図書館パワーアップ事業を継続したりそれに代わる施策を行って支援してほしいです。 ・コロナ禍でも交付金を活用した団体貸出冊数の増加など目標を上回ったことを評価します。 ・妥当な評価だと思う。 ・団体貸出冊数が増加したことは素晴らしい。様々な本に触れる機会は大切なので、これからも継続していただきたい。 ・インターネットや動画配信の普及によって社会の構造が変化している。学校は子ども達に本と接する機会を作る重要な場になる。学校と連携して子どもの読書環境の整備や情報リテラシー教育に力を入れていただきたい。 ・学校と連携し、先生方が読書に関して意欲的なクラスは読書量が多い子が沢山いるかと思いました。（読み聞かせをして） ・なお、達成度について単純に合計の平均を持って達成度の尺度としているが、それで良いか疑問である。（全体のトレンドが重要では？）		● <u>【前期総合自己評価】評価B</u> ・【評価A】全体的に目標を遥かに超えているため、また、職員の努力を評価する。 ・総合評価及び評価内容は妥当と思われる。 ● <u>内容説明および自己評価について</u> ・利用者増加の傾向は、努力の証。 ・特に力を入れてほしい指標なので、図書館パワーアップ事業を継続したりそれに代わる施策を行って支援してほしいです。 ・コロナ禍でも交付金を活用した団体貸出冊数の増加など目標を上回ったことを評価します。 ・妥当な評価だと思う。 ・団体貸出冊数が増加したことは素晴らしい。様々な本に触れる機会は大切なので、これからも継続していただきたい。 ・インターネットや動画配信の普及によって社会の構造が変化している。学校は子ども達に本と接する機会を作る重要な場になる。学校と連携して子どもの読書環境の整備や情報リテラシー教育に力を入れていただきたい。 ・学校と連携し、先生方が読書に関して意欲的なクラスは読書量が多い子が沢山いるかと思いました。（読み聞かせをして） ・なお、達成度について単純に合計の平均を持って達成度の尺度としているが、それで良いか疑問である。（全体のトレンドが重要では？）	

区分

評価指標

R元

R2

R3

R4

R5

前期事務局自己評価

図書館協議会委員
からのご意見

外部評価

2

誰もが利用しやすい図書館

高齢者向けイベント 実施回数	1	0	0.0%	C	1	0	0.0%	C	1	0	0.0%	B	1	0	0.0%	B	4	5	125.0%	A	●<u>評点について</u> ・【評価A】 子どもから高齢者まで利用しやすい図書館となっている。 ・総合評価及び評価内容は妥当と思われる。 ●<u>内容説明および自己評価について</u> ・行事など、さまざまな取り組みが功を奏しているのだと思います。 利用者の裾野を広げるような奮起を期待します。 ・R元・R2年については達成度が低かったが、最終的にR4・R5で達成することができたので評価はBで良いと思われる。 ・高齢者向けイベントでの集客状況や反応などは不明だが、引き続き高齢者が利用したくなる取組を実施してほしいです。 ・令和2年からコロナの影響で多くの事業が制限を受けましたが、5年度は目標を上回る活動が実行されました。関係者の努力を評価します。ただ、感染症が拡大した異常事態の中で目標達成を評価するのは難しいと思います。 ・コロナ禍で人が集まる事業ができなくなったので、目標未達となってもやむを得ない状況だった。令和5年度は目標達成できているので、この調子で様々な取り組みを実施していただきたい。高齢化が進むと、移動図書館車の活用はますます重要になってくるのではないだろうか。 ・誰もが利用しやすい…これが大きなテーマだと思います。高齢者の方も気軽に足を運べば、お孫さんさんと一緒にとの方もいるでしょうし、孤独な方が多いので図書館が楽しみになる様な場になってほしいです。 ・達成度について単純に合計の平均を持って達成度の尺度としているが、それで良いか疑問である。（全体のトレンドが重要では？）
利用者の意見を把握する機会の設定（意見箱設置）	10	1	10.0%		10	1	10.0%		2	1	50.0%		10	1	10.0%		10	10	100.0%		
移動図書館車での貸出冊数	4,000	4,316	107.9%		4,000	945	23.6%		4,000	3,775	94.4%		4,500	3,741	83.1%		5,000	5,016	100.3%		

 ●評点について ・【評価A】 子どもから高齢者まで利用しやすい図書館となっている。 ・総合評価及び評価内容は妥当と思われる。 ●内容説明および自己評価について ・行事など、さまざまな取り組みが功を奏しているのだと思います。 利用者の裾野を広げるような奮起を期待します。 ・R元・R2年については達成度が低かったが、最終的にR4・R5で達成することができたので評価はBで良いと思われる。 ・高齢者向けイベントでの集客状況や反応などは不明だが、引き続き高齢者が利用したくなる取組を実施してほしいです。 ・令和2年からコロナの影響で多くの事業が制限を受けましたが、5年度は目標を上回る活動が実行されました。関係者の努力を評価します。ただ、感染症が拡大した異常事態の中で目標達成を評価するのは難しいと思います。 ・コロナ禍で人が集まる事業ができなくなったので、目標未達となってもやむを得ない状況だった。令和5年度は目標達成できているので、この調子で様々な取り組みを実施していただきたい。高齢化が進むと、移動図書館車の活用はますます重要になってくるのではないだろうか。 ・誰もが利用しやすい…これが大きなテーマだと思います。高齢者の方も気軽に足を運べば、お孫さんさんと一緒にとの方もいるでしょうし、孤独な方が多いので図書館が楽しみになる様な場になってほしいです。 ・達成度について単純に合計の平均を持って達成度の尺度としているが、それで良いか疑問である。（全体のトレンドが重要では？） | ●評点について ・【評価委員前期総合評点B】 ・目標どおり達成 ・コロナ禍での利用促進は、困難な課題であったと想像できる。そのなか令和5年は全ての項目で目標を達成できたことは評価できたことからB評価。 ●内容説明および自己評価について ・①高齢者向けイベント実施回数 令和元年～令和4年まではコロナ禍であり、特に高齢者向けイベントは、開催できなかったと思われる。令和5年、実績が目標値を上回ったことは評価できる。 ②利用者の意見を把握する機会の設定（意見箱設置） 令和5年は目標値を上回り、良かった。令和元年から令和4年までの実績が伸びなかったのは、やはりコロナ禍のためか？ ③移動図書館での貸出冊数 令和5年は目標値を上回り、良かった。 |

3

佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館

郷土資料の蔵書冊数	36,500	35,110	96.2%	B	36,500	36,101	98.9%	B	36,500	37,049	101.5%	A	37,500	37,911	101.1%	A	36,000	38,701	107.5%	A	●<u>評点について</u> ・【評価A】 郷土資料の蔵書が増え充実してきたと感じるが、多くなればなるほど配架に工夫が必要と感じる。 ・総合評価及び評価内容は妥当と思われる。 ●<u>内容説明および自己評価について</u> ・「佐渡のことは佐渡の図書館へ」という気風を作ってほしい。佐渡出身者はもちろん、佐渡へ帰って（行って）卒論がかけると蔵書を心がけてください。 ・大人だけでなく、子どもも手にとりやすいよう展示や資料を活用したイベントを行ってほしいと思います。（貸出冊数の内訳に、子どもどれくらい含まれているにもよります。） ・コロナ禍でも貸出冊数は伸びているので、潜在的な需要があると思われます。今後も蔵書冊数の充実と郷土資料を有効活用した事業を進め、読書の掘り起こしを期待します。 ・郷土資料の充実、積極的な活用が図られており妥当な評価。 ・館内閲覧のみの資料もあるので、貸出し冊数に含まれない利用も合わせると蔵書の利用率はもっと高くなるだろう。 ・これからも他機関との連携や協力を進め、市民が多面的に学ぶきっかけ作りに努めていただきたい。 ・市には郷土に詳しい方が沢山います。その人達の力をお借りできないでしょうか？ ・達成度について単純に合計の平均を持って達成度の尺度としているが、それで良いか疑問である。（全体のトレンドが重要では？）
郷土資料の貸出冊数	3,800	3,730	98.2%		3,800	3,508	92.3%		3,800	5,494	144.6%		3,800	5,218	137.3%		3,500	4,963	141.8%		
郷土資料を活用した事業の実施回数	1	0	0.0%		1	0	0.0%		1	1	100.0%		1	3	300.0%		2	5	250.0%		

 ●評点について ・【評価A】 郷土資料の蔵書が増え充実してきたと感じるが、多くなればなるほど配架に工夫が必要と感じる。 ・総合評価及び評価内容は妥当と思われる。 ●内容説明および自己評価について ・「佐渡のことは佐渡の図書館へ」という気風を作ってほしい。佐渡出身者はもちろん、佐渡へ帰って（行って）卒論がかけると蔵書を心がけてください。 ・大人だけでなく、子どもも手にとりやすいよう展示や資料を活用したイベントを行ってほしいと思います。（貸出冊数の内訳に、子どもどれくらい含まれているにもよります。） ・コロナ禍でも貸出冊数は伸びているので、潜在的な需要があると思われます。今後も蔵書冊数の充実と郷土資料を有効活用した事業を進め、読書の掘り起こしを期待します。 ・郷土資料の充実、積極的な活用が図られており妥当な評価。 ・館内閲覧のみの資料もあるので、貸出し冊数に含まれない利用も合わせると蔵書の利用率はもっと高くなるだろう。 ・これからも他機関との連携や協力を進め、市民が多面的に学ぶきっかけ作りに努めていただきたい。 ・市には郷土に詳しい方が沢山います。その人達の力をお借りできないでしょうか？ ・達成度について単純に合計の平均を持って達成度の尺度としているが、それで良いか疑問である。（全体のトレンドが重要では？） | ●評点について ・【評価委員前期総合評点A】 ・目標どおり達成 ・A評価 ●内容説明および自己評価について ・①郷土資料の蔵書冊数 ②郷土資料の貸出冊数 ③郷土資料を活用した事業の実施回数 3項目ともに令和3年～令和5年までの目標を大きく上回っており、A評価でよい。こういった取組が、佐渡の世界遺産登録の一翼を担ったものと考えてる。 ・郷土を活用した事業として博物館やジオパークの学芸員等と連携して行ってほしい。ただの本の展示ではなく、専門家の視点で展示の内容等を見ていただき連携を強化していくと来館者増にもつながるのではないかと。 |

施策・事業

